

「生命」とは・・・

人間はいつか亡くなる・・・自分が高校生の時に先輩がバイクの事故で亡くなった。最後に手を握った時冷たく、あのときは悲しいというよりも、信じられない気持ちでいっぱいだった。前日まで部活動で普通にふざけて笑っていた。ミニゲーム前に握手をした時の先輩の手の温かさが忘れられない。

「生きている」とは、ただ息をしているだけでなく「温かさ」がある。エネルギーが燃え続けている証拠であるが、いつかは止まってしまう奇跡的な時間の積み重ねのような気がする。

先輩が亡くなった時、悲しみよりも「あの時こうすればよかった」「ありがとうと言えばよかった」と後悔ばかりでした。命はいつ終わるかわかりません。だからこそ、家族や友だちにトゲのある言葉ではなく、温かい言葉を届けてください。

命とは、あなたの中にある「温かさ」＝「熱」です。その熱を、誰かを温めたり、自分の夢を追いかけたりするために使ってください。

自分の「温かさ」がどれほど貴重なものか、自分の命は自分だけのものではない。あなたが生きていることは、周りの誰かを支え喜びになっている。自分の命を大切にすることは、あなたを大切に思っている人を大切にすることと同じです。

これからも、みんなの「温かさ」を感じることでできる学校にしましょう！

--

年 組 番 名前